

1980年、私が当時住んでいた街でダンスサークルを作ると、翌81年、自宅に若者6名を集め、アレックス・ムーア著「ボーリルーム・ダンシング」を翻訳する勉強会を始めました。土曜のサークルが終わった夜9時過ぎから真夜中過ぎまで(時には徹夜も)、毎週毎週休みなく13か月間続けてワルツとタンゴの一部を翻訳し、それにブルースを加えて小冊子に仕上げ、サークル員に配布しました。ダンスを始めたばかりの者達ではから、翻訳作業の中では当然ながら様々な疑問や質問が出てきます。その答えが「ボ

ー」です。これは1995年のことだつたと思います。イギリスのハーン&スペンサー社(DS-)から「 Slow Foxtrot Technique Analysis 」という感じの冊子っぽい本があります。ワルツ、タンゴ、クイックステップ、スロー・フォックステップ、スローフォックステップの4冊で、とても勉

1980年、私が当時住んでいた街でダンスサークルを作ると、翌81年、自宅に若者6名を集め、アレックス・ムーア著「ボーリルーム・ダンシング」を翻訳する勉強会を始めました。土曜のサークルが終わった夜9時過ぎから真夜中過ぎまで(時には徹夜も)、毎週毎週休みなく13か月間続けてワルツとタンゴの一部を翻訳し、それにブルースを加えて小冊子に仕上げ、サークル員に配布しました。ダンスを始めたばかりの者達ではから、翻訳作業の中では当然ながら様々な疑問や質問が出てきます。その答えが「ボ



## その5 ケン・アクリル氏

文／神元 誠  
イラスト／中村奈々子

強になりました。中でも、読み始めた私をまず惹きつけたのは、著者ケン・アクリル(Ken Akriil)氏が分析したフィガーにまつわる追加情報を加えていた部分でした。

例えばフェザーステップではこのように説明しています。「(男性は)右足ウォーキーとそれに続くアウトサイド・パートナーに出るスリー・ステップから構成。フィガー名は、僅かに右にカーブして踊った形が鳥の羽の形状に似ているところから付けられた。6種類あるフェザーステップ、フェ

・あれをアウトサイド・パートナーに出るスリー・ステップと考へることができるのか!・羽の形状は納得!・この人たちはフェザーステップとして残っていました。

・羽の形状は納得!・この人たちはフェザーステップとして残っていました。

・あれをアウトサイド・パートナーに出るスリー・ステップと考へることができるのか!・羽の形状は納得!・この人たちはフェザーステップとして残っていました。

ルーム・ダンシング」の中に書いてある場合もあります。たが、例えば、「なぜダブル・リバース・スピinn」と言うの?」のような質問に対する答えはそこにはありませんでしたので、その後もずっと自分の宿題として残っていました。

これは1995年のことだつたと思います。イギリスのハーン&スペンサー社(DS-)から「Slow Foxtrot Technique Analysis to Associate Level」が生まれた経緯

AN ANALYSIS OF THE SLOW FOXTROT TECHNIQUE TO ASSOCIATE LEVEL / KEN AKRILL, Former Triple Examiner I.D.T.A.

AN ANALYSIS OF THE SLOW FOXTROT TECHNIQUE TO ASSOCIATE LEVEL / KEN AKRILL, Former Triple Examiner I.D.T.A.  
A5サイズで、スロー・フォックストロット(90頁)、ワルツ(112頁)、タンゴ(90頁)、クイックステップ(151頁)があります。

を知ると楽しくなりますし、そうなると、今はあまり使われなくなっているPSSを使ってみようとか、右足の上でPPになるシンプルな方法を試してみようという気が湧いてきませんか?

そしてワルツの中で彼は、ダブル・リバース・スピinnの名が付けられた理由の推論を展開していく、私は大いに説得されたのですが、それについては新発売の書籍「熱心なダンサーへ贈る読むダンス用語集」をご覧になってください。